

夜間開講科目を設定

■ 開講のねらい

1

平成27年度から始まった「子ども・子育て支援新制度」により変化する幼児教育・保育の現場に対応できる人材養成が本研究領域の目標です。その実現に向けて、社会人(教育現場で働く人)の学修を積極的に支援するために昼夜開講科目を設定し、働きながら研究的視点を持った保育者・教育者の養成をめざします。

2

特に子ども・子育て支援の一環として、現場の保育士・幼稚園教諭の「質」の向上をめざし、実践的研究を中心に研究に新たな人材養成に取り組みます。

3

保育現場における「保育の可視化」をはかり、「保護者対応・支援」についても研究課題として設定します。

■ カリキュラムの特色

昼夜開講科目を
自分の都合で選択

夜間開講は
平日(週2日)
18:20～20:50

夏期・冬期等に
集中講義を開講

2年間で
専修免許状取得*と
修了をめざす

※幼稚園教諭1種
免許状取得者に限る

開講科目(予定)

教育哲学研究／教育思想史研究／比較教育学研究／教育史研究／教育心理学研究／臨床心理学研究／教育課程研究／教育方法学研究／教育技術研究／教育社会学研究／教育行政学研究／教育経営学研究／教師教育学研究／教育学研究方法／幼児教育研究／幼児表現研究(幼児音楽/幼児造形)／障害児保育研究／幼児と人間関係／幼児と保健／教育学特別演習

教員紹介

- 大豆生田 啓友 教授
研究分野：保育学／乳幼児教育学／子育て支援
- 若月 芳浩 教授
研究分野：教育学(幼児教育)

他

■ 入試情報

入試スケジュール

| | | |
|-----|------|-------------------------------|
| 第Ⅰ期 | 出願期間 | 平成28年11月25日(金)～11月30日(水) 消印有効 |
| | 試験日 | 平成28年12月10日(土) |
| | 合格発表 | 平成28年12月16日(金) |
| 第Ⅱ期 | 出願期間 | 平成29年1月11日(水)～1月16日(月) 消印有効 |
| | 試験日 | 平成29年2月11日(土・祝) |
| | 合格発表 | 平成29年2月16日(木) |

試験科目

いずれも専門科目試験、口述試験

*詳細は入学試験要項をご確認ください。

教育内容(大学院)

*主な科目名は2016年度現在のものであり、今後変更される場合があります。

| 【研究領域】 | 【主な科目*】 | 【研究領域】 | 【主な科目*】 |
|--------------------|---|---------------|---|
| 教育学研究 | ● 教育哲学研究 ● 比較教育学研究 ● 教育方法学研究 ● 教育心理学研究 等 | 初等教育研究 | ● 初等教育研究 ● 小学校授業研究 ● コンピュータと教育 ● カウンセリング研究 等 |
| 乳幼児教育研究 | ● 幼児教育研究 ● 幼児表現研究 ● 幼児と人間関係 ● 幼児と保健 等 | IB(国際バカロレア)研究 | ● IB教師教育 ● IB教育実践研究 等 |
| 乳幼児教育研究 (夜間大学院) | ● 幼児教育研究 ● 幼児表現研究 ● 幼児と人間関係 ● 幼児と保健 等 | 教師教育学研究 | ● 教職課程マネジメント研究 ● 教員養成・研修制度研究 等 |

==== 修士課程長期履修学生制度について =====

修士課程長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により、各自の都合に応じて修業年限を超えて履修を行う制度で、3年・4年コースがあります。ただし、志願者の勤務の都合や通学の便宜等を考慮して導入されましたが、夜間コースとして設けられているわけではありません。したがって、基本的には一週間(月～金)フルタイムの勤務がある場合、授業を受講し単位を修得することは極めて困難となります。あくまでも通常の2年間の修業年限を超えて履修する制度であり、その意味では一週間あたりの通学日数が多少緩和される程度と考えてください。また、各研究科とも3年・4年コースの学費等納付金は単位制となり、総額は通常の2年の課程とほぼ同額になります。

本制度を希望する場合は、出願する際に「長期履修学生制度希望履修年限コース届」(出願書類に同封)を他の出願書類とともに提出してください。

(1) 対象

- ①有職者(正規雇用以外の者を含む)
- ②家事・育児・介護等の従事者
- ③その他やむを得ない事情を有すると認める者

(2) 履修年限・在学年数

- 3年コース(在学年数は4年を超えることはできません)
4年コース(在学年数は5年を超えることはできません)

(3) 履修登録上限単位(年間)

| | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 |
|-------|------|------|-----|-----|
| 3年コース | 12単位 | 12単位 | なし | — |
| 4年コース | 8単位 | 8単位 | 8単位 | なし |

(4) 履修年限コースの変更

出願時に届け出た履修年限コースの変更は、原則としてできません。

*本制度の詳細は大学院入学試験実施要項で確認するか、または入試広報部(042-739-8155)に直接お問い合わせください。

==== 大学院奨学金制度について =====

学業を進めるためには経済的負担が伴います。アルバイトなどで必要経費の一部をまかなうという方法もありますが、過度のアルバイトは、学業に支障をきたしかねません。そこで学業優先の視点から、必要な経費の一部を確保するための経済援助「奨学金制度」があります。奨学金には給付(返還義務のないもの)と貸与(返還義務のあるもの)とがあり、それぞれ条件が設けられています。例えば、学内奨学金(給付)は、奨学金を受け取るには学業、人物ともに優れていることが条件となります。

■ 学内奨学金

| 奨学金名 | 募集時期 | 対象学生(定数)金額 | 主な条件 | 期間 |
|--------|------|---------------------------------------|-----------------------------|--------------|
| 大学院奨学金 | 4月 | 修士1年生(25名) [*] 年額20万円(給付) | 学業的・ 人物的に 優れて いるもの | 採用年度 (1年) |
| | | 修士2年生(12名) [*] 年額25万円(給付) | | |
| | | 博士(10名) [*] 年額50万円上限(給付) | | |

*表内の(定数)は、全研究科を合わせたものになります。

このほかにも、日本学生支援機構の募集する大学院生を対象とした奨学金(貸与)などもあります。詳しくは入学後、学生センターにお問い合わせください。

大学院に関する問い合わせ・出願書類の請求は下記まで

TEL 042-739-8155

〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1(入試広報部)

土曜・日曜・祝日及び下記の期間は休務となります。

8月24日～9月1日(夏期休暇) / 12月23日～1月4日(冬期休暇)

*その他、学園行事及び入試広報部諸行事で休務となる場合があります。ご了承ください。

<http://www.tamagawa.jp/graduate/>

Access

小田急線「玉川学園前」駅下車

新宿より小田急線の快速急行に乗りし、「新百合ヶ丘」で「各停」「準急」に乗り換え。

▶ 所要時間 約40分

横浜・八王子からJR横浜線「町田」で小田急線「各停」「準急」に乗り換え。

▶ 所要時間 約45分・約40分

小田原より小田急線の快速急行に乗りし、「町田」で「各停」「準急」に乗り換え。

▶ 所要時間 約60分